

～多賀城の宝物 part 1～

日本三古碑の一つ 多賀城碑



日本三大史跡の一つ 多賀城跡



◎天童市と多賀城市は “友好都市”◎

天童市と多賀城市のかかわりは、戦国時代にさかのぼります。

1584年、出羽国天童城の城主天童頼澄は、隣国との戦いに敗れ、家臣たちとともに現在の宮城県宮城郡へと移り住みました。

その後、天童氏は伊達政宗に厚遇され、家臣となって多賀城市八幡一帯の領主になりました。

この地域には、現在も天童氏やその家臣の子孫の方々が数多く暮しています。

天童古城築城630年にあたる平成17年には、記念碑建立式典に多賀城市から関係者が招かれました。また天童氏ゆかりの神社仏閣などを訪ねる多賀城市内の史跡めぐりには、天童市から多くの皆さんの参加がありました。

このような歴史的な縁によって、天童市と多賀城市は、平成18年に友好都市の関係を結ぶことになったのです。